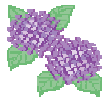


# 週刊 学びのコミュニティー

第56号

平成22年6月30日発行



## 【授業紹介 No.2】

### 第2弾は、『パンセと絵画』

(月曜日 3・4時限 担当：大橋 眞教授/光永 雅子・特任助教/中恵真理子・特任助教)

### 『異文化交流から何を学ぶのか?』

(月曜日 9・10時限 担当：大橋 眞教授/光永 雅子・特任助教)

このふたつの授業について、ご紹介いたします。



## 「パンセと絵画」「異文化交流から何を学ぶのか?」の受講生に期待するもの

今学期開講している「パンセと絵画」と「異文化交流から何を学ぶのか?」は、共通のねらいがある。それは、『他者からの視点からものごとを考えることができる』という力を身につけたうえで、いままでの自分と対比することにより、自己発展



を楽しみとすることを学びの基本形とする姿勢を身につけることである。しかしこの場合、モデルとなる他者の設定が重

要なポイントになる。そのために、パンセの著者であるパスカルを他者の代表例として置くと共に、彼の視点と対比する形で、宗教的な意味を持った絵画を中心とした西洋画を鑑賞するという方式で授業を行っている。パスカルは、キリスト教の理論を体系化して、カソリック教団を再興する目的でパンセを記した。そのために、彼自身の視点というよりも、絶対神を想像しながら俗世の出来事や考え方を客体化するというような手法をとっている。そのために、極めて難解な表現がしばしば登場する上に、俗世の視点から離れないかぎり、

文脈の繋がりを理解することが困難になる。ヨーロッパ中世に盛んに描かれた宗教画は、時代を超えた想像力と描かれた時代の社会的背景が元になっており、それぞれの視点を視覚的に感じることができる。そのために、パンセの抽象的な表現が絵画での表現という手段が補完し、頭のなかで再構築することで具体的な形として認識することが可能となる。また、この講座に参加している社会人からのコメントや、他の学生のもの見方などにも刺激を受けながら、多様な視点の存在に身近に触れる機会も設けている。このように、この授業では単なる絵画の表現技法ではなく、学習者の視点から画家の視点、さらには描かれた人物の視点というように、時空を超えて構成される多次元的な世界を経験する手法として絵画を活用することで、多様なもの見方が出来る学びを知ることを目指している。

また、「異文化交流から何を学ぶのか?」では、異文化の視点を持った留学生や地域社会人とテーマを決めて対



談する中で、多様な文化を知るとともに多様な視点の存在に気づくことを目標としている。スカイプを使っての外国の大学生との交流も、中国、モンゴル、パプアニューギニア、ドイツなど多様な



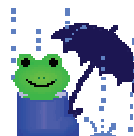
文化をリアルタイムで空間的距離を超えて体験出来る。それぞれの違った文化圏の世界をディスプレイという

窓から覗き見ることにより、留学生と直接に話をするよりも、お互いの文化の違いに気づきが起こ

りやすい面もある。いずれも今年度より開講した授業であり試行錯誤的な面もあるが、地域社会人の献身的な協力に支えられて成果を挙げつつある。学ぶ側の学生の多様化には、まだ十分に対応出来ていない面があり、多様な学習段階の学生に対応出来るような教材の開発が今後の課題である。



(文責：大橋 眞)



\*\*\*\*\*

### 1月の学びのコミュニティ

- 7/7(水) 16:30～ 水曜学舎⑩
- 7/8(木) 15:00～ 読書会⑥
- 7/14(水) 16:30～ 水曜学舎⑪
- 7/21(水) 16:30～ 水曜学舎⑫
- 7/28(水) 16:30～ 水曜学舎⑬

### 新しい図書 入荷しました!!

ここ学生支援室には 3500 冊ほどの図書をみなさんにお貸ししておりますが、この度、新たに 130 冊ほど購入いたしました。

平成 22 年 5 月、6 月に発行された新書や、地球の歩き方、話題の小説(村上 春樹『1Q84』他)などなど多数揃えております。お昼休みや空き時間、お気軽に手に取りにいらしてください!!

### ～玄米 炊いています～

お昼休み少し前、何だかいい匂いがする?これ何の匂い?パスタ?...学生支援室前を通る学生さんのこんな声をよく耳にします。その匂いの正体が“玄米”です。社会人のみなさんが、授業後に「これを楽しみにしているのよ」といらして下さり、一緒に食卓を囲んだり、「今日は炊き出しやっていますか?」そう訪ねて来てくれる学生さんも。



ほぼ毎日炊いておりますので、素朴なお味、でも、栄養満点な“玄米”を頂きながら、交流を深めてみませんか?



### ～編集後記～

今日で6月も終わり。じめじめ、むしむしな陽気に既にばてそうな私ですが、社会人の方々はいつも元気はつらつとしていらっやいます。ヨーガを30年以上実践されている方、冒険家として世界中を廻られた方、珍しいかいこを育て、繭作りに夢を馳せていらっやる方、留学生さんたちに熱心に日本語を教えてください...どの方も生き生きとされていて、刺激を受ける毎日です。10年後、20年後...そんな元気な自分でいられるよう、まずは日々大切に過ごしていきたいと思ひます。(境)